

令和2年度 松江地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会
(松江構想区域 地域医療構想調整会議)

日時：令和2年12月21日（月）

13:30～15:30

会場：松江合同庁舎 2階 講堂

1. あいさつ

2. 出席者紹介

3. 報告事項（13:40～14:35）

1) 保健医療計画と介護保険事業計画の整合性について

【資料1】【参考資料】

① 地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律について

② 第7次医療計画の中間年における病床、在宅医療等の現状

③ 追加的需要に対する評価

4. 意見交換（～15:15）

5. その他（～15:25）

1) 病床機能再編支援事業について

【資料2】

2) 新規医療開設者に求める事項の同意状況、医療機器共同利用計画書の提出状況

【資料3】

3) 第7次医療計画の中間見直しについて

【資料4】

閉会 まとめ

R1 年度松江地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会
(松江構想区域 医療構想調整会議) 概要

(R1年11月7日開催)

【内容】

1. 医師確保計画・外来医療計画について

- ・松江圏域の医師確保及び外来医療の現状・課題を共有し、今後の方向性を決定した。
- ・外来診療を行う新規開業医へ求める事項、医療機器の共同利用の方針を決定した。
- ・「島根県保健医療計画（別冊 医師確保計画）」に位置づけられた。

松江圏域において外来診療を行う新規開設者に求める事項

- ・初期救急体制支持のため、松江市においては休日救急診療室の診療への協力、安来市においては在宅当番医制への参加
- ・中山間地域、周辺地域における在宅医療の提供及び、プライマリーケアの実施
- ・行政、産業保険関係機関等からの協力要請に対する協力

2. 松江構想区域 地域医療構想及び医療・介護連携について

- ・松江圏域の病床数、介護施設等の状況を共有し、病院機能について意見交換を行った。
- ・松江市が実施されたサービス付き高齢者住宅(以下: サ高住)の調査結果報告をもとに意見交換を行った。

主な意見

- ・サ高住に介護度3以上、医療やリハビリが必要な人が入居している実態があり、サ高住も含めた在宅等で医療・介護・リハビリが受けられる体制をつくる必要がある。
- ・退院時に在宅介護を調整することが難しい場合、とりえずサ高住に入居するケースがある。
- ・80事業所のケアマネ全体の質を底上げすることが課題。
- ・サ高住併設の介護、看護事業所の力量、サービス内容に差があり、調査の継続が必要である。
- ・慢性期病床が減ることにより、看取りは施設や在宅で行う方向になる。介護職員の看取りに対する意識改革が必要である。
- ・がん患者の退院が難しい。がんパスが進んでいない領域がある。特に麻薬を使用する緩和ケアが難しい。